

変化のかけら とその続き

Maruki Gallery for the Hiroshima Panels
architectural research & renovation project

2023.10.7 sat - 12.10 sun

開館時間：9:00 - 17:00 (12月から9:30-16:30)

休館日：月曜日(月曜祝日の場合は翌平日)

入館料：一般900円、中高生または18歳未満600円、小学生400円

団体(20名以上)、ツアー持参の方、60歳以上、比企地区在住者は100円割引、障りの方方は半額

[トーク]

11/23 (木・祝) 14:00

廣賀英二郎+八木骨奈弥 (wyes architects)、水沢勉 (神奈川県立近代美術館長)、
内山章 (スタジオA建築設計事務所)、岡村幸直 (原爆の凶丸木美術館学芸員)

原爆の凶丸木美術館

住所：埼玉県東松山市下唐子1401

TEL: 0493-22-3266 FAX: 0493-24-8371

MAIL: info@marukigallery.jp Web: <https://marukigallery.jp>

池袋駅より東武東上線急行で約1時間(東松山駅・森林公園駅・つきのわ駅)
●森林公園駅南口より(約3.5km)：タクシー約12分・徒歩約50分
●東松山駅東口より(日祝除く)：4番乗り場より市内循環バス「唐子コース」(日祝運休)約15分「丸木美術館東」で下車し、徒歩約15分
●つきのわ駅より(約2.5km)：徒歩約30分

原爆の凶丸木美術館 NOMURA 野村財団

2023.10.7 sat - 12.10 sun 9:00-17:00 (12月から9:30-16:30)
休館日：月曜日(月曜祝日の場合は翌平日)

原爆の凶丸木美術館 調査の記録／改修計画案

原爆の凶丸木美術館は、丸木位里、丸木俊（赤松俊子）が、《原爆の凶》を展示するために建設し、ふたりの存命中から度重なる増改築を経て拡張と変化を続けた稀有な美術館です。

現在、絵画制作の現場であり作家の生活の場でもあった建物を調査しながら、改修計画を進めています。建物を調査すること。それは、破損や劣化を確認し、改善の必要な箇所を見つける行為であると同時に、建設からこれまでの間に生まれてきた、不可思議なパーツや脆弱なポイント（変化のかけら）も含めて、さまざまな部位に触れ、めでたり、いつくしんだりして、建物の癖を見つける行為でもあると私たちは考えています。癖をつかんでから、こんどは、作品とともに変化を続けてきた美術館の次なる姿を思い描いています。改修計画では、ちりやほこりに埋もれた時間の層を見つけ出してハイライトして、かつて流れたかもしれない時間に再び接続しながら、美術館が、これからの20年、30年を生き抜いていく姿を表現することを目指しています。

—— 齋賀英二郎 / wyes architects

wyes architects
ワイエスアーキテクト

齋賀英二郎と八木香奈弥による建築設計事務所。建築デザインに加えて、調査や企画、展示デザインを行う。既存建築の調査（リサーチ）を重視したアプローチで設計する。

変化のかけらとその続き

Maruki Gallery for the Hiroshima Panels
architectural research & renovation project

原爆の凶丸木美術館 調査の記録／改修計画案

